



横浜人形の家

ギュリック三世夫妻来浜

—友情人形提唱者の孫—

横浜人形の家にゆかりの深い友情人形提唱者ギュリック博士の孫にあたる、ギュリック三世夫妻が5月25日(月)・26日(火)に横浜を訪れ、ご自身が1987年から送られた新青い目の人形を所有する市内4箇所の小学校を訪問されます。各小学校では、全校生徒が歓迎し、ギュリック三世夫妻との交流を行います。ご取材の程、よろしくお願い申し上げます。



2007年5月に人形の家を訪問されたときのギュリック三世夫妻



本町小学校の「ブロッソソ」



青い目の人形

スケジュール

5月25日(月曜日)	08:30	西前小学校訪問 創立100周年記念行事の一環として 全校生徒による歓迎セレモニー
	10:40	本町小学校訪問 全校生徒による歓迎セレモニーと給食
	13:40	戸部小学校訪問 全校生徒による歓迎セレモニー
	15:30	横浜人形の家来館
5月26日(火曜日)	08:30	元街小学校訪問 全校生徒による歓迎セレモニー

取材について

本町小学校でのセレモニーおよび生徒との給食風景の取材をお願いします。なお、他の小学校での取材もお受けします。5月22日(金)までにご連絡いただきますようお願い申し上げます。

友情人形とは

友情人形(通称 青い目の人形)は、昭和2(1927)年に12,739体がアメリカの子供たちから日本の子供たちに送られてきました。

それは、当時の日米関係の緊張を和らげるため、親日家のグーリック博士の提唱で雛祭りに合わせて計画されたものでした。日本からはお返しに58体の日本人形(市松人形)が、クリスマスに間に合うようアメリカに贈られました。

しかしながら、昭和16年から両国が戦争状態に入ったため、親善のシンボルであった人形は一転して敵国のシンボルとなり、その大部分が焼かれたり廃棄されたりしました。

現在全国で約 250 体が残っており、そのうち横浜市内には現在本町小学校の「ブロッソソ」など4体が残っているのみです。

グーリック三世夫妻と横浜人形の家

横浜人形の家は昭和61(1986)年に開館しました。その開館記念式典に出席されたご夫妻は横浜人形の家展示された昭和2(1927)年当時の「青い目の人形」をご覧になり、ご自身の祖父の偉業を知ったのです。そのことをきっかけに、日本の子供たちに人形を贈る活動をご夫妻で始められました。

横浜人形の家にも「ジェニファー」という人形を贈っていただきました。着替えの衣装は奥様のフランスさんの手作りです。

開館5周年、10周年、そして平成17年の20周年にも横浜人形の家にご来館されています。

横浜人形の家では、この人形交流について2階展示室「ノスタルジックハーバー」のコーナーで紹介し、本町小学校に保存されていた友情人形「ブロッソソ」と里帰りした答礼人形「ミス福岡」を展示してお客様を歓迎しています。

グーリック三世夫妻から贈られた横浜市内の新・青い目の人形

1987年	本町小学校	アマンダ
	西前小学校	メアリー・スー
	戸部小学校	カレン
	野毛地区センター	リン
	横浜YMCA	ジョナサン
1988年	間門小学校	リサ
1989年	青木小学校	サリー
	庄戸小学校	ザ・グッド・ウィッチ
1991年	元街小学校	ベッキー
	横浜人形の家	ジェニファー
1992年	中和田小学校	エレノア
	紫桜会	キャラ
	早苗幼稚園	エミリー